

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

- (1) 目的（文部科学省のねらい）
 - ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ウ ア、イの取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (2) 調査実施日
令和5年4月18日(火)
- (3) 吉田町の実施学校数及び実施児童生徒数
 - ア 小学校
3校（住吉小学校・中央小学校・自彊小学校） 児童数 237人（第6学年）
 - イ 中学校
1校（吉田中学校） 生徒数 236人（第3学年）
- (4) 調査内容
 - ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、中学校のみ英語）
 - イ 質問紙調査
 - （ア）児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
 - （イ）学校に対する調査（指導方法に関する取組や教育条件の整備の状況等）

2 調査結果の概要

- (1) 県平均正答率との比較においては、小学校・中学校ともに、全教科で県平均を下回り、特に、中学校数学において、県平均との差が大きかった。
- (2) 一人一台端末をはじめとしたICT機器の活用状況が全国平均及び県平均に比べてかなり進んでいるとともに、ICT活用が勉強に役立つと感じている児童生徒が多い。
- (3) 主体的に学びに向かっていると回答した割合が、小学校では各都道府県の割合に比べて高いが、中学校においてはほぼ平均並みである。
- (4) 小学校・中学校ともに、文章や資料などから情報を読み取ったり、情報を関連付けて考えたりするなど、情報を活用して課題解決する力が弱い。

3 今後の取組

- (1) 町全教職員研修会や校内研修の充実を図ることにより、授業の目標や学習課題を明確にし、ICT活用が学力向上に効果的につながっていくよう、学校の授業改善を推進する。
- (2) 基礎的・基本的内容の定着を図る「習得のサイクル」と課題を設定し、情報を収集・整理・分析し、まとめ・表現する「探究のサイクル」を効果的に活用するとともに、児童生徒一人一人が明確に課題を持ち、主体的に学ぶとともに、友達と協働的に学び、高め合うことによって、学力の向上を図る。
- (3) コミュニティー・スクールを活用し、教育委員会、学校、家庭、地域が一体となって、児童生徒の学力・学習状況の向上を目指した教育活動を推進する。

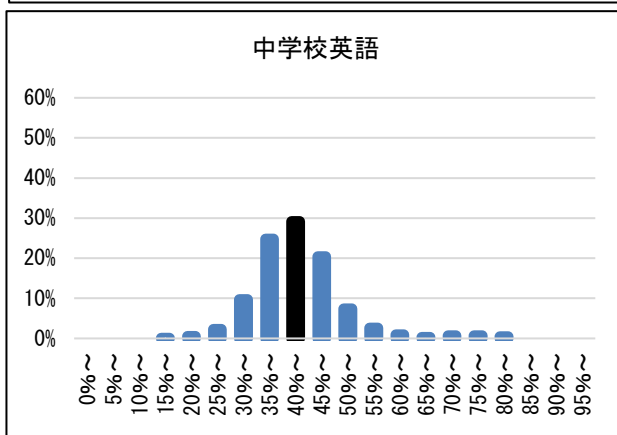
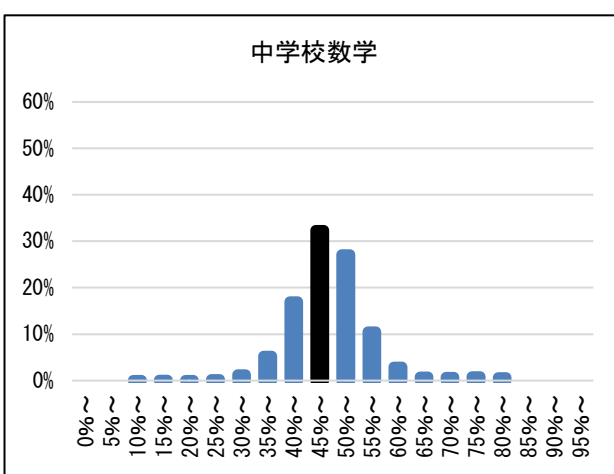
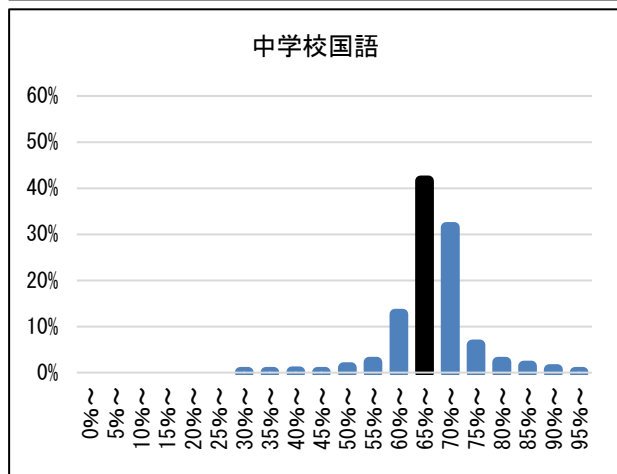
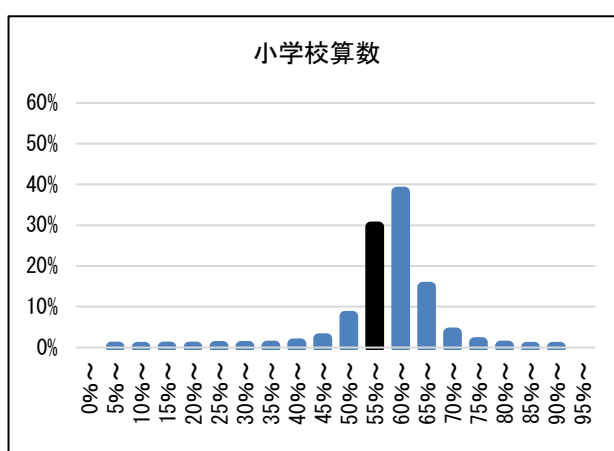
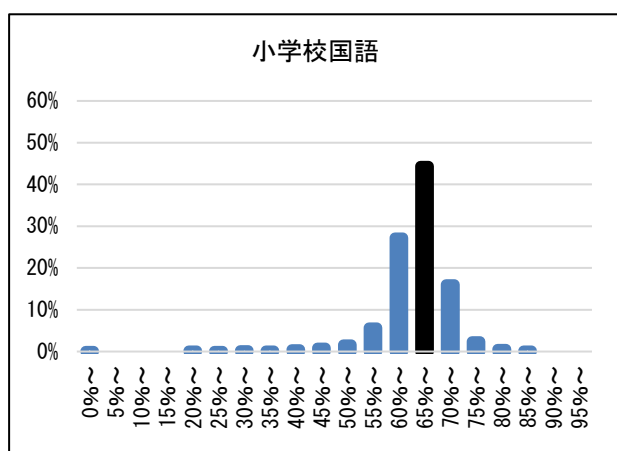
4 吉田町の学力に関する調査結果

(1) 平均正答率の全国・静岡県との比較

学年	教科	吉田町	(参考)	全国	差	静岡県	差
小6	国語	65	65.1	67.2	-2.1	67.0	-1.9
	算数	59	59.2	62.5	-3.3	61.7	-2.5
中3	国語	69	68.5	69.8	-1.3	70.6	-2.1
	数学	46	46.3	51.0	-4.7	52.3	-6.0
	英語	43	43.2	45.6	-2.4	46.8	-3.6

(2) 平均正答率分布：吉田町の位置づけ

※参考：国立教育政策研究所 教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」



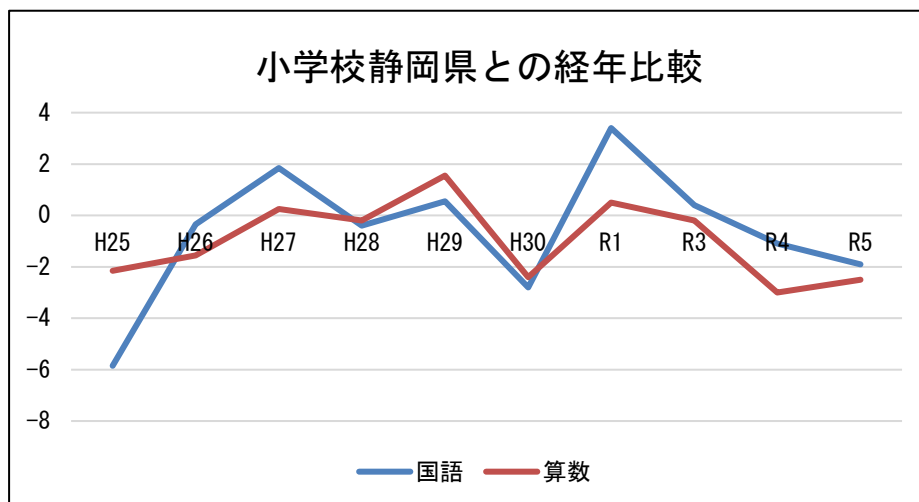
・ 吉田町は、小学校国語、中学校国語・数学・英語において、最頻値の中に含まれる。

(3) 平均正答率の経年比較：県との差 (%)

① 小学校

県比較	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
国語	-5.9	-0.3	1.8	-0.4	0.6	-2.8	3.4		0.4	-1.1	-1.9
算数	-2.2	-1.6	0.3	-0.2	1.6	-2.4	0.5		-0.2	-3.0	-2.5

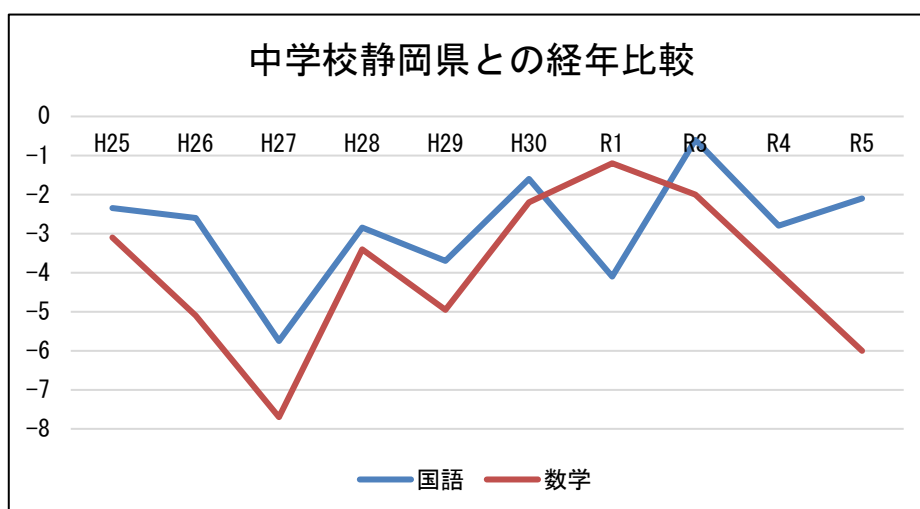
※ 平成 30 年度までの結果は、国語 A・国語 B 及び算数 A・算数 B を足して平均を出し「国語」「算数」の平均正答率を算出



② 中学校

県比較	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
国語	-2.4	-2.6	-5.8	-2.9	-3.7	-1.6	-4.1		-0.6	-2.8	-2.1
数学	-3.1	-5.1	-7.7	-3.4	-5.0	-2.2	-1.2		-2.0	-4.0	-6.0
英語							-2.3				-3.6

※ 平成 30 年度までの結果は、国語 A・国語 B 及び算数 A・算数 B を足して平均を出し「国語」「算数」の平均正答率を算出



(4) 課題となる問題

【資料3】 朝田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

適切な食事をすることにより、脳が活動し、心身が健康になり、病気になりにくくなります。ただし、同じものを食べ過ぎると、体に負担がかかるので、栄養素が不足してしまいます。バランスのとれた食事をとることが大切です。

食品は、栄養素の働きが異なり、その働きは、主に以下のグループに分けることができます。

エネルギー源となる食品は、主に炭水化物、たんぱく質、脂質です。炭水化物は、主に糖質をエネルギー源として使われます。たんぱく質は、主に筋肉や臓器の材料として使われます。脂質は、主にエネルギー源として使われます。

（栄養素の主な働きと食品の例）

主にエネルギー源となる食品：米、パン、パスタなど

主に骨を丈夫にする食品：魚、肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整える食品：野菜、果物など

49頁目

【小学校国語】

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができるかどうかをみる問題

学習指導要領の内容：「情報の扱い方に関する事項」

＜改善に向けて＞

教科書から情報収集することを徹底する。図やグラフ等と文章を結び付けたり、関連付けたりすることで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることを継続して実施していく。

④ 左の図と右の図は、テープを測って、下のようにならせた2つの三角形をつくりました。

上の図と右の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の ① から ④ までの中から 1 つを選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んでおけば、言葉や図を使って書きましょう。

- ① 左の面積のほうが大きい。
- ② 右の面積のほうが大きい。
- ③ 左と右の面積は等しい。
- ④ 左と右の面積は、このままでは比べることができない。

【小学校算数】

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題

学習指導要領の領域：「図形」

＜改善に向けて＞

習得した知識を別の場面でも活用できるような授業展開を工夫する。また、「なぜそうなるのか」を自分の言葉で説明する活動を多くし、論理的な思考力や表現力を身に付けさせる。

【資料4】 『朝七晩』について

③ 朝七晩とは、朝七時起床、晩七時就寝を繰り返す生活を指す。朝七晩生活は、健康に良いとされているが、一方で、生活リズムが崩れると、健康に悪影響を及ぼす可能性がある。朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

④ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑤ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑥ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑦ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑧ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑨ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑩ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑪ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑫ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑬ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑭ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑮ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑯ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑰ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑱ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑲ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

⑳ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉑ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉒ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉓ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉔ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉕ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉖ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉗ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉘ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉙ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉚ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉛ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉜ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉝ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉞ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㉟ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊱ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊲ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊳ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊴ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊵ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊶ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊷ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊸ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊹ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊺ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊻ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊼ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊽ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊾ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

㊿ 朝七晩生活のメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ挙げよう。

49頁目

【中学校国語】

具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題

学習指導要領の内容：「情報の扱い方に関する事項」

＜改善に向けて＞

図やグラフ等と文章を結び付けたり、関連付けたりすることで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることを継続して実施していく。まとめ・表現する場面では、図やグラフ、キーワード等を取り入れながら、文章を結び付けたり、関連付けたりしながら説明する活動を取り入れていく。

【6】 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。

図1

君香さんは、はじめの数として○にいろいろな整数を入れて計算しています。例えば、はじめの数が1、4、-5のときは、それぞれ1のようになる計算になります。

計算の例

はじめの数が1のとき
 $1 \times 2 + 3 = 5$
 $5 \times 3 + 4 = 19$
 計算結果は、19 になる

はじめの数が4のとき
 $4 \times 2 + 3 = 11$
 $11 \times 3 + 4 = 37$
 計算結果は、37 になる

はじめの数が-5のとき
 $-5 \times 2 + 3 = -7$
 $-7 \times 3 + 4 = -17$
 計算結果は、-17 になる

中教-7

【中学校数学】

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる問題
 学習指導要領の領域：「数と式」

<改善に向けて>

事柄が成り立つ理由を、数学的な表現を用いて自分の言葉で説明する場面を多く設定することにより、論理的な思考力や表現力を身に付ける授業展開を工夫する。

【2】 君香さんは、前ページの計算の例の計算結果がどんな数になるかを調べています。

1のとき 6 $6 = 3 \times 2$
 4のとき 15 $15 = 3 \times 5$
 -5のとき -12 $-12 = 3 \times (-4)$

君香さんは、これらのことから、「はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも3の倍数になる」と予想しました。この予想が成り立つことは、次のように説明できます。

説明1

はじめの数として入れる整数を a とすると、はじめの数に2をかけた数は $a \times 2$ 、3をたした数は $a + 3$ と表される。計算結果は、
 $a \times 2 + (a + 3)$
 $= 2a + a + 3$
 $= 3a + 3$
 $= 3(a + 1)$
 $a + 1$ は整数だから、 $3(a + 1)$ は3の倍数である。したがって、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも3の倍数である。

ここで、君香さんは、前ページの図まで、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果がいつでも3の倍数になるのは、「2をかける」の「3」が3の倍数であるからではないかと考えました。

中教-8

そこで、前ページの図1の「2をかける」のかけられる数「2」は変えずに、「3をたす」のたす数「3」を3の倍数である「6」に変えた図2をかきました。

図2

そして、はじめの数として2、4、-4を入れ、計算結果が3の倍数になるか調べました。

2のとき 12 $12 = 3 \times 4$
 4のとき 21 $21 = 3 \times 7$
 -4のとき -6 $-6 = 3 \times (-2)$

調べたことから、君香さんは、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数に2をかける数」が3の倍数ならば、計算結果はいつでも3の倍数になる」と予想しました。この予想が成り立つことを説明します。下の説明2を完成してください。

説明2

はじめの数として入れる整数を a とすると、はじめの数に2をかけた数は $a \times 2$ 、6をたした数は $a + 6$ と表される。計算結果は、
 $a \times 2 + (a + 6)$
 $=$

中教-9

【8】 英語の記事で、アラン先生が作成した大学が学習者用端末に送付されました。これを読んで、以下の問いに答えてください。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring out meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the customer doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

(注) plate: 皿 area: 一か所と一か所を
 apartment: アパート agree with: 一に賛成する

中教-10

【中学校英語】

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題

学習指導要領の領域：「書くこと」

【2】 アラン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡単に書きなさい。

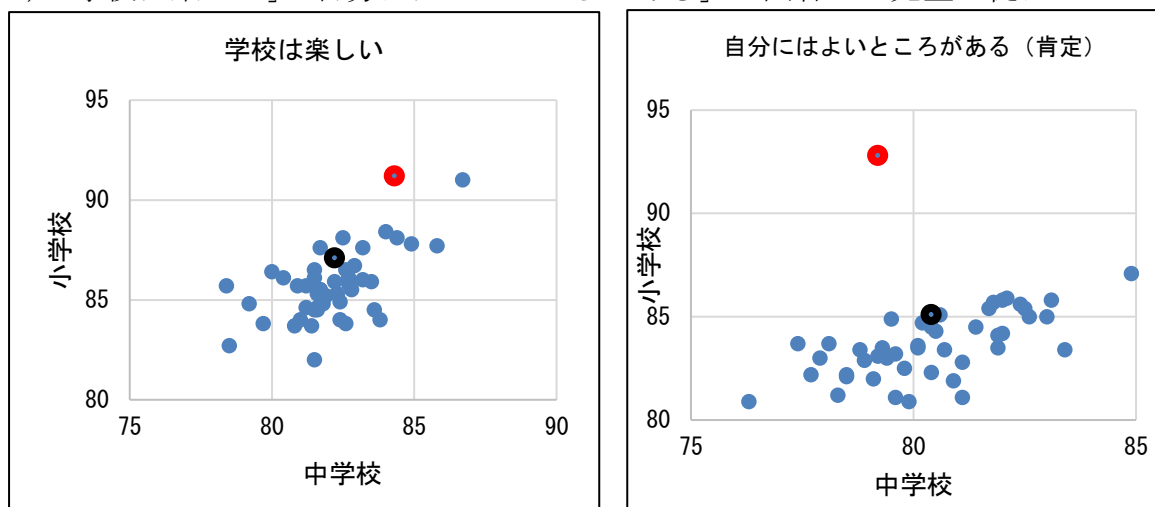
下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

<改善に向けて>

英文が伝えようとしている意味を読み取り、問いに対して自分の考えを英語で書いたり、伝えたりする場を設定することにより、英文を理解する力や書く力の向上を図る。

5 吉田町の学習状況（学習方法や学習環境等）に関する調査結果

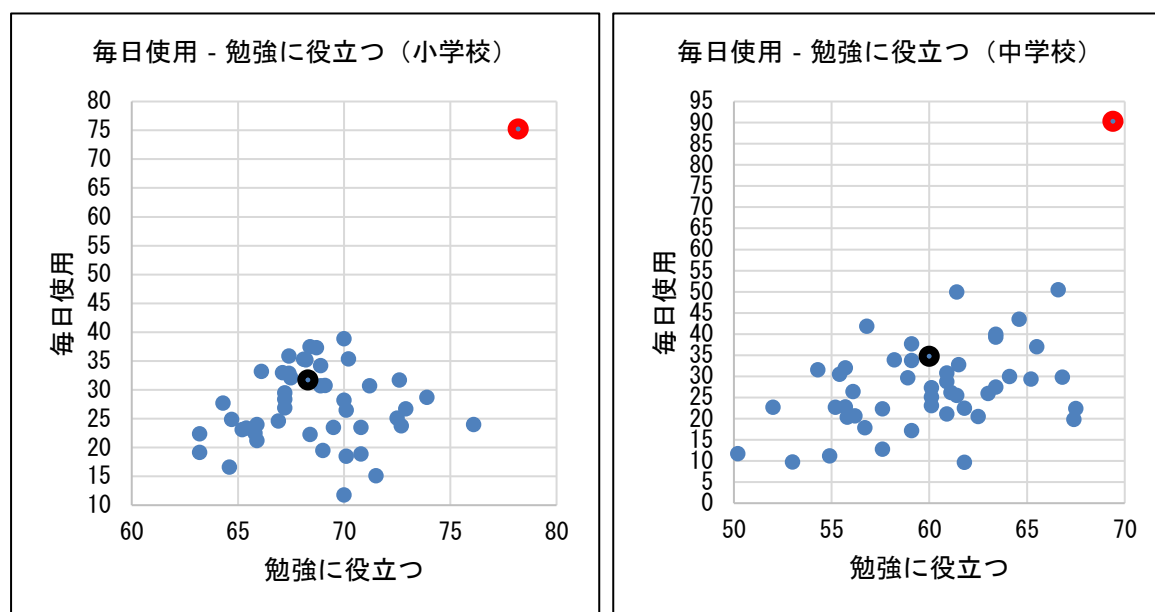
※質問項目について、小学校と中学校の肯定回答を散布。●が吉田町、●が静岡県、●が都道府県
 (1) 「学校は楽しい」「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒について



- ・吉田町は、特に、小学校において「学校は楽しい」「自分にはよいところがある」と回答した割合が、各都道府県の回答に比べて高い。
- ・特に、小学校においては、学校における心理的安全性が確保されていると言えるが、中学校においては、自己肯定感が高くないと言える。

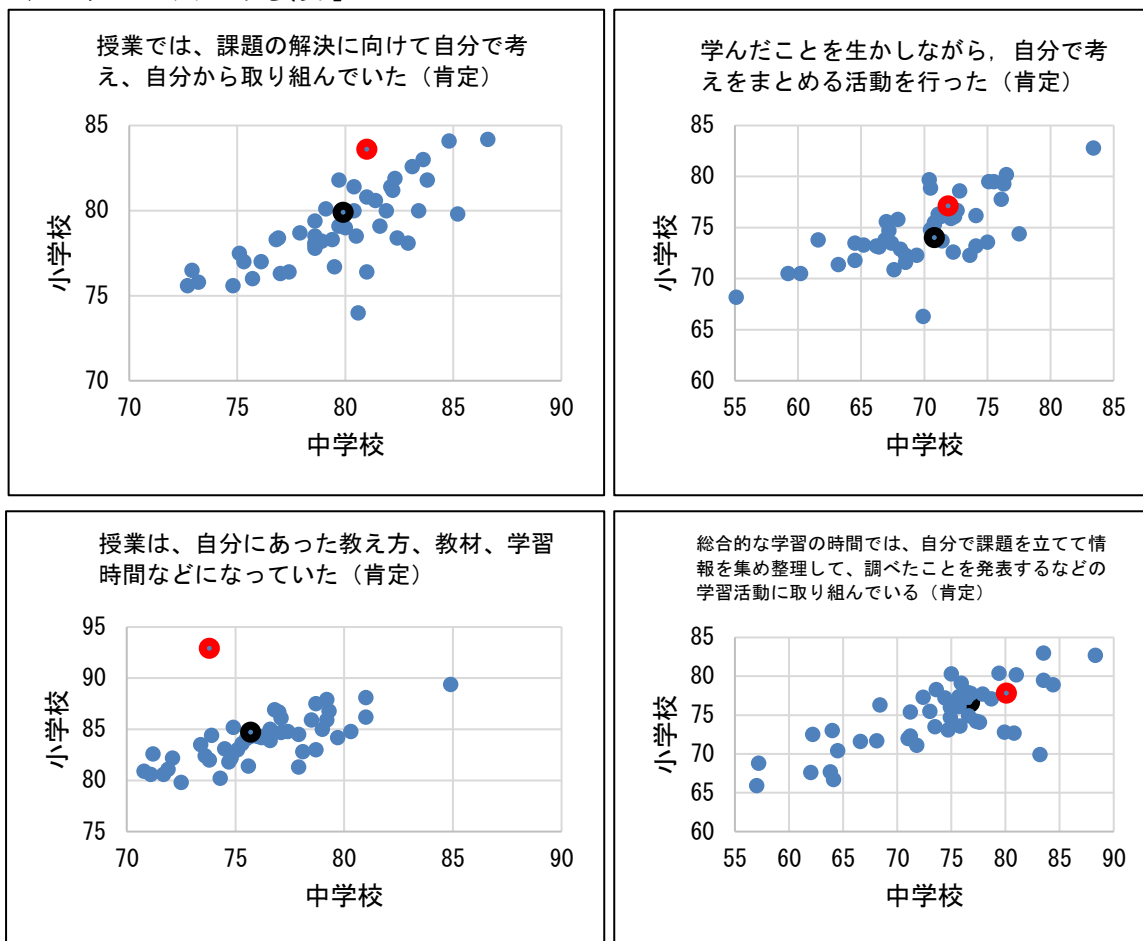
(2) 令和4年度に積極的に推進してきた「ICT活用」について

※「小学校5年生（中学校1・2年生）のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、「ほぼ毎日」使用したと回答した児童生徒の割合」と「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うと回答した児童生徒の割合」（強い肯定）を散布



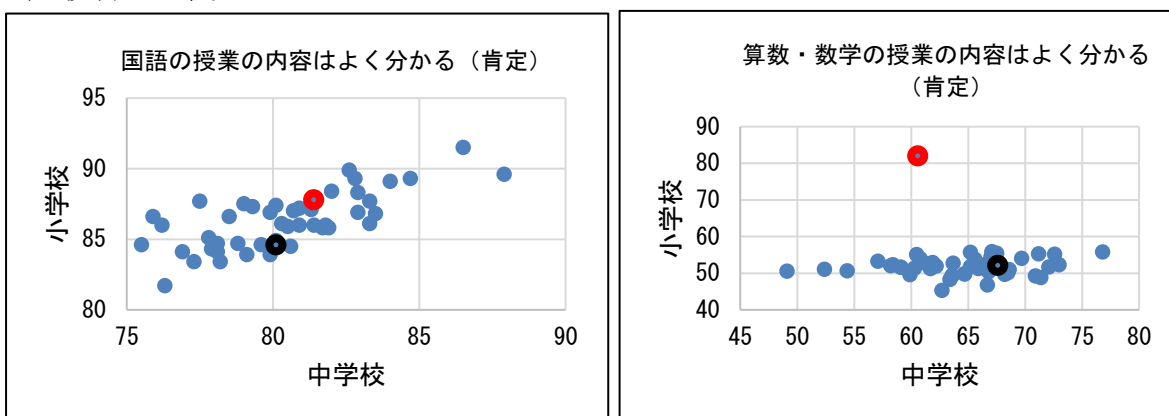
- ・吉田町は、ICTの積極的な活用と勉強の役に立つと回答した児童生徒の割合が、各都道府県の回答よりもかなり高い。
- ・ICT活用が勉強に役立つと感じている児童生徒が多いことから、ICT活用が学力向上に効果的につながっていくよう、今後もICTを有効に活用しながら授業改善を図る必要がある。

(3) 「学びに向かう姿勢」について



- ・吉田町は、特に、小学校において、主体的に学びに向かっていると回答した割合が各都道府県の回答に比べて高い。
- ・小学校に比べて中学校の肯定的回答が低いことから、「学び方」に関する小中学校のつながりを、より一層考えていく必要がある。

(4) 教科との関わりについて



- ・吉田町は、特に小学校において、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した割合が、各都道府県の回答に比べて高い。
- ・「授業の内容はよく分かる」と回答している割合に対し、学力調査の結果が低いことから、「浅いところで分かっている授業」や「分かったつもり」に留まり、追究の質が低く、深い学びになっていないと考えられる。